

今回は、小学校でJTEとして指導される一方で、指導者研修会の講師も数多く担当されている沖縄県那覇市在住のトレーナーからの実践報告です。



宮城実子 さん

J-SHINE 通信

2014年1月号

英語講師歴24年。16年間の予備校講師、私立高等学校講師を経て8年前から小学校外国語活動にかかわる。沖縄県立総合教育センター、沖縄県中頭教育事務所の外国語活動教員研修セミナーの講師としてワークショップに携わる。

■ J-SHINE資格及びトレーナー資格を取得した経緯

米国への留学や現地の旅行業者勤務を経て帰国し16年間予備校で英語講師として勤務しました。その間に予備校が専門学校を新設し児童英語教室を開講したことがきっかけでJ-SHINEの指導者資格を取得しました。予備校での受験指導のかたわら専門学校で児童英語にかかわるようになってから、子供に“Authentic”な英語を教える楽しさやその教授法の奥深さに魅了され、いつか小学校の現場に立ちたいと思い駆られ、ついに2005年沖縄県宜野湾市の英語教育特区事業立ち上げの初年度JTEとして小学校の現場で英語活動を指導することになりました。現在宜野湾市は全8校にJTE、ALTが一人ずつ配置され、英語の授業が1～4年生は週に1時間、5、6年生は週に2時間確保されています。年間計画にはフォニックス指導も含まれており、他教科とのクロスカリキュラや米軍基地内の小学校との交流会など児童とともに充実したカリキュラムを体験することができました。小学校のカリキュラムや指導案の作成を重ねるうちに、もっと本格的に勉強したいと思うようになり「受験勉強」をしてトレーナー試験に挑み、2007年に資格取得ができませんでした。小学校の現場で実際に教えながらの「受験勉強」は「教育用語」も「教授法」も「第2外国語習得研究」もすべて現場で再認識させられる内容で、理論と実践のつながりを実感することができる幸せな体験でした。ただ、覚えなければならない専門用語や定義も多く、トレーナー試験受験のため沖縄から上京する飛行機の中では英語教育用語辞典の中の気になる用語の欄をひたすら読んでいたことを思い出します。

トレーナー資格を取得し、「教育支援協会沖縄」主催の指導者養成講座の講師を担当しています。そのほか宜野湾市内の全小学校の指導法改善研修会、校内研修、沖縄県中頭教育事務所主催英語主任担当研修会、沖縄県総合教育センター研修員研修の講師依頼をお受けするようになりました。どの研修会もトレーナーとしての研鑽・修業の場になっています。

2010年には教育支援協会沖縄主催で沖縄で初めて開催されたフォローアップ講座、2013年2月に福岡で開催されたフォローアップ講座に講師として参加しました。

■ 現在の活動状況

2013年11月17日にはJ-SHINE創立10周年記念事業のフォローアップ研修講座を沖縄で主催する大役も無事果たすことができました。教育の現場や事務局及び教育支援協会主催のフォローアップ講座では与えられた講師という仕事をこなすだけでしたが、地域運営の代表者として一つのイベントを立ち上げることは想像していた以上に激務でした。しかしイベント運営のノウハウを手探りで一から学ぶことができ、トレーナー検定委員の先生をはじめ福岡在住のトレーナー仲間、地元の指導者の皆さまにご支援いただき、受講者の皆さまに十分満足いただける学び多き講座となりました。

現在は専門学校主催の資格取得講座も担当させていただいております。

■ 今後の展望

現在九州にはトレーナーが私も含めて4人しかおりません。沖縄県は私一人きりです。資格取得者の沖縄の皆さま、是非トレーナー試験にトライしてください。沖縄の子供たちによりパワーアップした指導ができるように、より多くの指導者の方々と共に学び合いたいと思います。次回のフォローアップ講座で一緒にしましょう！

